

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	株式会社 元気な介護	代表者	池田 元気
事業所名	小規模多機能型ホーム くらしさ拓北	管理者	神田 友子

法人・事業所の特徴	駅から徒歩5分、スーパーが近くにあり、閑静な住宅街にある事業所です。事業所の外見は古風な感じがしますが、室内は綺麗にリフォームされています。現在、認知症カフェを月に2度開催しており、地域の方が気軽に介護等の相談に事業所にお越しいただけるような事業所を目指しています。
-----------	---

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	4人	2人	1人	0人	6人	0人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A.事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社の理念や社訓をしっかり共有して業務を行っていく。</li> <li>・利用者様への対応の共有、統一を図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所に行動指針を貼り出し周知している。また、定期的な会議でも周知をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年前に比べ職員の人数も増え少しずつ職員の意識や考え方に統一感が見え始めてきたが一部の職員の言動など若干統一されていない場面が見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の考えを統一していくために定期的な会議や伝達の継続、今後は研修も含めて意識の統一を図っていきます。</li> </ul>
B.事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストーブを2台追加で設置する事により、暖かい室内で活動することが可能になった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストーブの台数を増やし、暖房を入れる時間を早める等の改善をしてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年前と同様事業所の外観が毎年劣化してきているようにも思え、冬場など雪の重みで倒壊しないか心配です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所設備の定期的な点検を行うとともに、設備破損などが見られた場合には早急な修繕対応を行って行きます。外壁の塗装については引き続き検討していきます。</li> </ul>
C.事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事に積極的に参加するためにも町内会との交流を図っていく。また、事業所の行事等にも地域の方を招待し交流を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の長寿会への参加やイベントに利用者様と一緒に参加している。</li> <li>・認知症カフェの開催により、地域住民が気軽に来所できるような体制が出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方にはどのような介護サービスを実施する事業所なのか、又は存在すら知らない住民の方も多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の定期的なイベントへの参加はもちろんの事、ポスティングも含めて事業所の存在をアピールしていく。</li> </ul>
D.地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談があるときは介護支援専門員が事業所で相談に乗ることが出来るような体制を構築していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェも含めて必要時に相談に乗れる体制を構築している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェの開催により今までよりは気軽に事業所に訪問しやすくなったと思うが認知症カフェに参加して楽しめる取り組みを考えてほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェの参加者が定着してきた為、今後は講師を招いた講談などを検討していきます。</li> </ul>
E.運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案があった認知症カフェについては、早速札幌市に申請を行い開設する予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年1月に認知症カフェを開催し、開催時には3、4名の地域住民の方が定期的に参加されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に住んでいる独居高齢者やサービスが必要な利用者様の状況把握をほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の商店や住民、町内会、包括支援センター等と情報共有を行いながら状況把握をしていきます。</li> </ul>
F.事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所長が防火管理者の研修に参加し終了証の交付済みです。消防訓練は消防訓練計画を作成でき次第実施予定です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防火管理者の研修受講を行い、消防設備点検も踏まえた消防訓練を実施済みです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害の時に事業所は地域にとってどのような役割でどのような協力をしてもらえるのかよくわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップを活用した避難場所などの周知や事業所の非常災害対策等をまとめたチラシなどの配布を検討していきます。</li> </ul>